己削	商船高等	 専門学校	開講年度 令和05年度 (2		授業科目	
科目基礎		AT IT IX		2025平汉)		pm/エ디띠 2
科目番号	AT CIT	0040		科目区分	専門 / 必何	逐
授業形態 授業				単位の種別と単位		
開設学科 情報工学科			<u>u</u>	対象学年	3	1
用設子付			1	週時間数	2	
教科書/教				•		
担当教員	N	梅木陽	大式会社 参続がり子へる神柱回路 体が	小山人		
		144/N P/m				
到達目標					10 1 10 1 TI	
ログラム制	川作に幅を持	界門的な知識で きたせる.	として,コンピュータの内部構造と, 	外部との情報のや 	りとりについて埋	解を高める. これにより, 今後のフ
ルーブリック			理想的な到達レベルの目安		ベルの日安	
論理ゲートを用いて論理式を組合 せ論理回路として表現することが できる.			表現することがよくできる.	表現することが		表現することができない。
与えられた組合せ論理回路の機能 を説明することができる.			機能を説明することがよくできる・	機能を説明する。	ことができる.	機能を説明することができない.
できる.		†することが	設計することがよくできる.	設計することが ⁻	 できる.	設計することができない.
フリップフロップなどの順序回路 の基本素子について, その動作と 特性を説明することができる.			動作と特性を説明することがよくできる.	動作と特性を説る。	明することができ	動作と特性を説明することができない.
レジスタやカウンタなどの基本的 な順序回路の動作について説明で きる.			順序回路の動作について説明よくできる.	順序回路の動作(る.	こついて説明でき	順序回路の動作について説明できない.
与えられた順序回路の機能を説明 することができる.			順序回路の機能を説明することが よくできる.	順序回路の機能できる.	を説明することが	順序回路の機能を説明することができない.
		ことができる	順序回路を設計することがよくできる.	順序回路を設計・ ・	することができる	順序回路を設計することができない.
		目との関係	糸			
教育方法	等					
概要		・順序回路 ・工学実験	各を理解する上で必要となる組み合わ 検が行えるための順序回路について学	せ回路について学 ぶ.	ぶ. 	
 授業の進め	方・方法		構義を中心とする. 台時に授業の準備ができていないもの	についても「主体	的,继结的补学型	音効しがかいものと評価する
 注意点			屋刻が多いものは「主体的・継続的な			<u> </u>
	ヘキマギ			子日忠い」のない	0ので計画する:	
		<u> </u>	文耒科日			
		<u>と上の区分</u>	T	T		1
□ アクテ	ィブラーニ	ング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	2	□ 実務経験のある教員による授業
授業計画	<u> </u>					
		週 技	受業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス 半加算器, 全加算器についての説明 自学自習として, 半加算器, 全加算器 Eしいものを解答する課題を与える.	骨の説明について	半加算器,全加算器について説明できる	
		2週	加算器,全加算器についての説明 一パープロー検出についての説明 学自習として,半加算器を用いて全加算器を構成す 課題および4ビットの全加算器を構成する課題を与え ・		半加算器,全加算器を構成できる	
		3週	。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	比較器を構成する	減算器, 比較器を構成できる	
		4週	算器, 比較器の説明 学自習として, 多数ビットの減算, 比較を行う回路 構成する課題を与える. た,		減算器,比較器を構成できる 加算器と減算器を選択できる回路が構成できる.	
		5週	ンコーダとデコーダについての説明 ントケア項についての説明 学自習として, エンコーダ, デコーダ回路を構成す 課題を与える.		エンコーダ, デコーダ回路を構成できる	
		6週 目	アルチ、デマルチプレクサについての説明 1学自習として, マルチ, デマルチブレクサを構成す 課題を与える		マルチ,デマルチプレクサを構成できる	
		7週	狙み合わせ論理回路についての説明 自学自習として,半期で学んだすべて 構成する課題を与える.	の回路について	基本的な組み合わせ回路がすべて構成できる.	
			中間試験		基本的な組み合わ)せ回路がすべて構成できる

					1					
	2ndQ	9週	順序回路についての説明 4種のフリップフロップについての訪 自学自習として,順序回路およびフ! 動作について説明する課題を与える.	コップについての説明 順序回路およびフリップフロップの 序回路を主要解し、SR-FF、T-FF、JK-FF、D-FI						
		10週	状態遷移図,状態遷移表についての説明 ビットのメモリについての説明 自学自習として,状態遷移図および状態遷移表を書き 動作を示す課題を与える.		状態遷移図, 状態遷移表を用いて回路の動作が説明で きる					
		11调	特性方程式,応用方程式,入力方程式についての説明 K-FFを用いたT-FFの設計 自学自習としてそれぞれの方程式について回答する課 題およびフリップフロップを用いた回路設計に関する 課題を与える.		特性方程式,応用方程式,入力方程式が書ける. それぞれの方程式について説明できる.					
		12週	ンジスタの設計についての説明 1学自習として,レジスタを構成する課題を与える.		各方程式からレジスタを構成できる. 異なるFFを用いてレジスタを構成できる.					
		13週	ワウンタの設計 日学自習として,2進カウンタを構成する課題を与える		各方程式からカウンタを構成できる. 異なるFFを用いてカウンタを構成できる					
		14週	ワウンタの設計 日学自習として, 3進および4進カウンタを設計する課 種を与える.		各方程式からカウンタを構成できる. 異なるFFを用いてカウンタを構成できる					
		15週	順序回路に関する総まとめ 自学自習として,後期に学んだすべて 課題を与える.	ての回路に関する	出力が現在の入力状態と過去の入力によって定まる順序回路を理解し,SR-FF,T-FF,JK-FF,D-FFについて説明することができる.					
		16週								
評価割合										
			定期試験	その他		合計				
総合評価割合			70	30		100				
知識の基本	的な理解		50	0		50				
思考・推論	創造への	適応力	20 0			20				
主体的・継続的な学習意欲			0	30		30				